

リベルテール

★特集 アナルコ・フェミニズム



6・7月合併号

Libertaire VoL, VI, No 7

無 政 府 主 義 誌

昭和45年9月4日第三種郵便物認可
昭和50年7月15日発行第66号

リベルテール 定価200円(郵便料共)

- リベルテール Le Libertaire
- 1975年7月15日発行 VoL, VI, No 7
- 編集兼発行者 三浦精一
- 発行所 東京都練馬区大泉学園町2190 萩原晋太郎方 リベルテールの会

リベルテールは声明する！

「東アジア反日武装戦線」「狼」「大地の牙」「さそり」の被疑者逮捕の報道を通してみられるアナキズム・アナキストの毀誉褒貶の言葉には一抹の不安を感じる。そもそもアナキズムは国家の廃止を念願とし、権威・権力を拒絶し、連合における基盤を自由に求めた個人主義（Individualism）の思想であり、それは近代におけるブルジョア思想「力による他者の奴隷化」に対する対抗として急速に広まってきたものである。

今なお、国家の桎梏より精神的に離脱できないものがそれを曲解している。彼等は国家の権威を温存することによって国家の権力に服し、国家の権力を利用することによって狐のように甘い汁をすっている。一方で、彼等は又、企業の権威（社会的価値の生産と労働人口の吸収、奢侈と失業者の就労機会付与）を最大限に価値判断し、企業の経済力に屈服し、企業の経済力を利用することによって他者を顧ることなく搾取者として甘い汁をすっている。

アナキズムは今日、民族主義の勃興（国家の独立と独立の要件、経済的自立、統治能力）と平行して、西方においては対抗文化と呼ばれるもの（共同体、自然食、カプタ運動、モードイスム、ヒッピー等）の中に発展している。アナキズムが常に「国家を変えて社会」を「権力に変えて合意」を理想とする以上国家と権力の支配する場においてはいつでもその願望の噴出の予兆を持っている。

「東アジア反日武装戦線」による企業の破壊はいくつもの不幸、死者、重軽傷者を発生させた。もとより我々は彼等を判断することはできない。しかし人類の理想の前で噴出した今回の一連の企業爆破事件を非難だけで終始することはできないだろう。

「リベルテール」編集部は声明する。権威が個人の人間関係を規定し、権力が個人の行動を規定する社会、させようとする社会は人類を怯懦と屈辱の淵へ陥し込む精神荒廃への道である。

帝国主義、植民地主義の背景にある権威への追従と、利益分配の共存関係の中で被搾取者を忘却し、加害者として加担していくいかなる行為も中止しなければならぬ。

「東アジア反日武装戦線」が行動で示したいくつもの事件と、行動がもたらしたいくつもの不幸を充分に考えよう。

目次 1975年6・7月合併号

リベルテールは声明する！	1
国家その覚え書(7)	2
世相やぶにらみ座談会	5
野火	6

★ 特集 アナルコ・フェミニズム

〔特別寄稿〕

アナーキズムと男性フェミニズム	11
女のルネサンス	22
男性闘争者と女性アナーキスト運動	24
戦前の日本無政府主義	
婦人運動史年表	26
アナルコ・フェミニズムについて	30

アナルコ・フェミニズム

— 資料 —

資料Ⅰ 皆さんお元気	41
資料Ⅱ アナルコ・フェミニズムは 何を意味するか	44
資料Ⅲ アナルコ・フェミニズム	45
資料Ⅳ アナルコ・フェミニスト宣言	48
資料Ⅴ アウトサイダーの アナルコ・フェミニズム	50
資料Ⅵ ラジカルフェミニスト	51
資料Ⅶ 中国のフェミニズム	53
資料Ⅷ 中国の半身	57
あとがき	60

国家その覚え書 (7)

三浦精一

今の中共になって、もう無くなっただろうが、中華民国として近代国家の仲間入りするために、当時は完備した憲法も法律もあった。当時の法律では、個人の意志が尊重されて若い者の自由結婚も認められていた。親の反対を押し切って愛する女と結婚しようとした青年が、役所に二人で出頭して結婚した。大事件だ。親たちはどうしたかと聞くと、漢法子（仕方がない）と言ったという。ヤーマンのすること、それは一種の不可抗力なのだ。役人が法律をふりまわしても、文盲の庶民には分らない。庶民の間には別の法がある。先祖から守り継いだ法、それが部落や町をつらぬいて皆によって守られる習慣である。これが一つの枠となっている。兵士になること、役人になること、阿片中毒者になることこれは枠からはみ出すことである。乞食ならばまだ良い。誰でも生活に窮したら乞食になっても仕方がないのだ。一朝風雲に乗じて、今日の乞食が店を構えることもある。今度の終戦後上陸して来たアメリカ軍相手のレストランが何軒も出来たが、その一つの経営者は、ついこの間まで乞食だった

と聞いた。乞食の種類も多く、政談をやるもの、芸をするもの、歌うものいろいろだと聞いた。

×

青島にはたくさんのお店があった。店の経営はジャングイと呼ばれる「経理」によるもので、店主が経営しているのではない。多く合名会社のようなもので、資本家は東家と呼ばれ一人のことも、数名のこともあり、経営を経理に一任している。全責任をもつ経理は決算の時利益を約束されているのだが、一度経営不振におち入ると自分の妻子を売って東家の所に行き、その金を差出して自分の責任の一端でも償おうとする。この時東家はその金を出して、妻子を買戻させ、さらにまた資本金を出して、も一度店をやれという。妻子まで売った金を受取らないでも誠意は分るのだし、それを受取っては東家の面子はつぶれて社会の枠からはみ出す。受取らないでもそのままでは刀折れ矢の尽きたものを再起させられない。こうした框組は法律によって国家が制定したものとは違う。国家は法律をつくっていろいろな名目で税金をとる。どんな政府ができればと税は安い方が良いのだ。民衆は政府以前から存在する。

×

前に書いた山口隆一君につれられて数人で平康里とい

う売春ビルを見物したことがあった。五階建か六階建になっている。一階二階と上に行くほど高級になって行くという。その最上階に、宴会によく招かれて来た一人の

日本で言えば一流芸妓がいる。山口君もそれを訪ねて来たのである。その女はそこに数室を持っていて、家族もそこで一緒に暮している。その数室にはそれぞれ数名の客が来ていて談笑している。一つの社交場だ。女は一室から一室へと酌をしたり、愛嬌をふりまいて廻って歩く。こうした談笑の間に一人の客との暗黙の約束が出来上ったことだという。日本のように性的満足だけを求める客、金銭で女をというような客は失格で、最下級のものしか相手にならない。昔は高級な教養を身につけねばならなかった韓国の妓生を墮落させて、観光客相手の安物にしたのも日本人だ。性的直接行動だけしか知らないエコノミックアニマルが、世界の人に軽蔑されるのも、動物的生活の周辺にも文化の色どりが加えられて行くことを考えることができないからだ。韓国政府は観光客の落す金銭を目当てに妓生を墮落させるのだ。政府にとって

も、エコノミックアニマルにとっても、商品が安価に売買できるところにキーセン観光が成立する。

平康里の一階二階三階といった差別は決して政府の介入によるかっての日本の公娼の鑑札制度によるものでな

く、富の不平等による。シナの社会にはこうした経済的框組もあった。

×

エコノミックアニマルとしての日本人の醜惡な姿は、青島でも常に見られる所であった。日本軍が上陸すると古くから居た日本人には春が来た。日本商品の卸売商は別として小売商ではシナ人と太刀打ちできない。一旗あげようと渡って来た日本人に出来ることは日本人相手の商売や遊廓以外は良からぬ知恵をしぼっての悪事である。私が行った頃、ある友人は言った。今時 いてる連中の一人として叩いて埃の出ない奴はいないと。

あるシナ人は話した。日本人は競馬を見に行くのに洋車（人力車）を値切って、競馬場につくとそれより少ない金をやって中に逃げこむ。洋車夫が追いかけるがどうにもならないと。いたずらにせよ、こんな洋車夫に追いかけられるような光景は私も見ている。シナ人は私共は競馬場に行く時は遊びに行くのですから、値切る所か余分に払いますという。

そしてまた競馬場の中では、子供を背負った女が、自分の買った馬券の馬と一緒に、髪をふり乱して走っている。見苦しいですねという。私たちは余分の金銭で遊ぶつもりですから負けても何ともありませんという。

こうした日本人が軍をバックに威張っていた。バックがあつて威張る日本人には個の強さはない。敗戦とともに、そのみじめさを暴露する。上陸して来たアメリカ軍にも助けられた。明治以後西洋の文化をとり入れ、英語の分る者もいたし、それにシナ人に比べると清潔でもあった。

×

シナ人は黄土の子である。水の少ない北支では生活はどうしても不潔になり勝ちだし、そんなことに無関心にもなる。アメリカ兵がシナ人を雇って掃除にしても、どうしても清潔にできない。日本人にさせると手際よくやる。こんなことだけではない。シナ人が腰に下げた黒く汚れた手拭、それで茶碗をふいて茶を出す。ムカッとくる。だが実はそれは首から上の顔をふく時につかうものだ。首から上は神聖なので汗をふいても汚くはないと考えられている。首から下をふいたタオルで顔もふく日本人をシナ人は不潔だと思ふ。

華北航業総公会の診療所に日本語のうまい日本で養成された看護婦がいた。日本の病院では清潔にやっていたはずなのに、注射針をブラ下げた黒くなった手拭でふいた。故郷に帰ったのだ。すっかり逆戻りだ。根強い生活習慣、その奥にある観念形体、それにささえられたシナ

の社会なのだ。

×

北京に行った時、今千葉大や国学院大の教授になっている神尾明正君と、居酒屋に飲みに行ったことがあった。酒瓶などに板をのせたテーブルで店にある料理を注文して食べながら飲む。郵便配達夫なども一寸入って飲んで行くような気軽な店だ。神尾君が、蠅がいないでしようという。気がついて見るとたしかにいない。日本軍から一匹でも蠅がいたら営業停止という、きつい命令が出たのだそう。やっきになって蠅をとったという訳だ。

戦後はじめて中共に行った日本人たちが、一匹の蠅もないと、北京の清潔さを語ったのを新聞で見たが、私はハハアこの手だなと思った。一步北京の郊外に行けば蠅はウンという筈だ。アメリカからDDTを買って撒いた訳ではなし、いないというのが嘘だ。郊外に行かなくても裏通りをのぞいても分ったはずだが、そんな好奇心を起したら、命があふない。権力によって蠅退治も可能なのだ。商人は商売が大切だから、さわるぬ神にたたりなしと我慢して服従する。政府というものの対する庶民の態度が、日本人とは全然違っているのだ。

×

長々と思ひ出すままに書いて来た。国家とは別な、社

世相やぶにらみ座談会

会的な枠組というものがあつたということを分って貰えらと思う。この枠組が文化人類学でとり上げている「構造」である。日本人も社会の中にいろいろな構造をもっている。民俗学が掘り起こそうとしているのは庶民の中に、古い時代から庶民をささえて来たこの構造である。政治権力が日本という国のすみずみまで浸透して、日本人は社会と政治的国家との区別すらつかないようにされてしまった。古事記や日本書記によって押しつけられた征服民族の権力思想を区別することもできないままである。しかし征服された庶民、無抵抗な庶民、迷蒙の底に生きたる庶民の中にも、われわれは「日本人の社会構造」「日本人の精神構造」を見出さねばならないのだ。そこにわれわれの革命の原点がある。

百年以上も前にブルードンは言っている。「社会のうちには二種類の組織体制がある。社会的組織と政治的組織である。前者は経済的諸力の結合と利害の均衡によって組織されるが、後者は権威による制度である」。

(出席者) ハニー・ゴロ氏、爆裂氏、やだいやだ氏、鉦毒臭水氏、(時・場所) 5月11日、小平霊園で

ハニー ベトナム人民の血みどろな戦いの成果、民族自決に敬意を表そう。チェコ人民も再起せよといいたい。

爆裂 フランス、日本、ふたたびフランスそしてアメリカに踏みつけられ通して、ようやく独立を勝ちとったことは大きく評価したい。ベトナム戦争反対運動を続けてきた我々にとっても喜びだ。然し、これでベトナム人民が解放されたと思ったら大間違いだ。

やだ そうだ。また同じベトナム人の支配者に隷属させられるのだからね。ベトナムではまだ永続革命だ。

鉦毒 それにしても台湾や朝鮮で更に戦争の危機が迫ってきた。朝鮮の北にも南にも自由はない。台湾は蒋介石の残党と毛沢東の餌食争いにさらされている。何とかして民族自決を支援したいね。

爆裂 架空の人民革命党事件で判決直後に死刑にしたり、反共決起大会をつくらせたり、緊急措置の強権を発動したり、金芝河も死刑に直面している。朴一派の恐怖感からくる恐怖政治がますます強化されているのだ。

ハニー 金日成が中国へ行った時の発言や、北鮮が非武装地帯にトンネルを掘ったことなども、南への脅威を増しているのだから。誰のための戦争準備なんだ。

鉦毒 南も北も、支配者は人民大衆のことなど考えてはいないよ。朴烈は、独立運動は解放運動にならぬといって、アナキズム革命運動にとびこんだ。その原点に立ちかえるべきだろうな。

やだ 戦争といえば核防会議がジュネーブで開かれているが、あれで核軍縮できるとは、ナンセンスだ。

爆 敗戦直後、我々は世界で初めて原爆を浴びた人民として、世界の軍備を撤廃せよと叫び、占領軍の即時撤退と日本の永世非武装中立化を主張した。その悲願に未だに近づけないのが残念だ。

やだ 春斗について……

ハニー 経営側が応じられそうもない数字をふっかけなければ、斗争の形が組めない。本当に斗いとうろなんて姿勢はない。ハタリとカケヒキだけだ。いいかげんな所で手を打つ。そして政党の投票箱と金銭箱になる。

やだ 毎度同じだな。ゆすぶり通せば、資本社会をひっくり返せる時期にきているのにな。

鉦毒 労働者は企業組合を破壊し、企業の公害と斗えと主張してきたのも我々アナキストだ。

終るものではない。

十九世紀ユートピア運動というのは新大陸という物理的場の存在と社会状況の中で発生したと思える。それは王権神授説と封建士候制の崩壊、その中で伸張してきた都市ブルジョアの過酷な精神に対する反発であつたろう。ユートピア運動は共同体運動として現代的に新大陸に幾多の花を咲かせたのだ。現代アナキズムはコンミュニンを多く語る。これはバリ・コンミュニオンへの郷愁からアナキズムサークルとしての共同体、コンミュニオンへの道程でとらえられるだろう。

本冊子は秋山三喜雄氏のユートピア革命論の部分に多くねじまげられていった論争が載っているが、ユートピアで今、少しく考えねばならないのは初期社会主義の目的が何であつたのかではあるまいか。このことについては論者達も時として考え戻り発言しているがその力は弱い。なお共同体運動と革命については今の共同体運動全体について普遍的なことを語るのでないならば、共同体員の意識の問題、としか答えられないだろう。無責任な者のですぎた発言だが許されたい。本冊子は

大阪市住吉区荊田町10の37

山本松男

なお、本冊子と関係ないし又絶版になっているかもしれない

やだ 所で、イギリスの女王がきたが、あのバカ騒ぎはどうだい。セールスマンだと評した者もいるが。

鉦毒 全く。天皇誕生日に日ノ丸の旗を持って宮城に行つて万才を叫ぶ奴らがいるのと同じに、腹が立つやらないやら。あれはまさに天皇制のカムフラージュ工作だ。爆 天皇にしてもエリザベスにしても、彼ら個人に罪はないかも知れんが、彼らの名によって何千万の人々が殺され傷つけられたかを忘れてはならぬ。(記録SH)

野火

野火

アナキズムはユートピアン社会主義といわれるのに二つの理由があるように思える。一つは社会主義の目標としてのユートピアを理念の中に持ち、それに向かつて創造性に立脚して革命を遂行していこうとするからであり、第二として、アナキストそれ自身、ユートピアンであるかの如き空想者としてかたづけられるからである。これら二つの観点に立つたアナキズム批判は機会を得てそのうちやろう。

今度「自由連合紙(戦後)上のユートピア論争」なる冊子が山本松男氏によつて発行された。これは「共同体運動に何らかの役にたてば」と言っているがそのみに

れないが、「ユートピア思想と現代・伊達功・創元社、一九七一年発行」は歴史的なものも述べ、現代の中でユートピアをとらえ概説書としてはおもしろい本になっている。(Y)

X X X

八鹿高校事件に関するピラ、冊子、新聞等を少しく受け取り、又手に入れたものがある。八鹿高校事件の概要は次の様であると思える。

一、八鹿高教師と部落生徒の対立

二、部落生徒の抗議行動

三、八鹿高教師の挑発

四、判断、事件

この事件についてあまり注釈を書くことがない。ただ教育というものについて少しく書きたい。

世々の教員というものの、生徒を自分の支配下にある奴隷のごとく思っているのが多い。憲法に義務教育というのがあるのも不思議だが、どうも現代人は学校というものを幼少年期における社会としてとらえているフシがあるように思える。学校はそこでは知識の売り買いだけでなく、次の職場という社会?への世渡りの方法まで無理に押え教えしつける。学校というのは一つのポテンシャルな位相だと思つていたのだが、まったく機能的に、マス



"WOMEN NEED NOT ALWAYS

KEEP THEIR MOUTHS SHUT

AND THEIR WOMBS OPEN!"

★特集 アナルコ・フェミニズム

プロ的に動作し、生涯的奴隷生活の過程の一つでしかなく
なってしまう。本来的に言うなら学校とは知識
の売り場だけでいいのだ。生徒は適当にやっていく。と
ころが、教員というものの、生徒が汚ないと職権をかざし
て、社会的迷惑を云々するのではなく、生徒を罵倒し、
生徒が欲求に従って休むと天命であるかのごとき錯覚
によって生徒を追求する。こういうのをいらぬおせっか
いである。と思ってるうちはいいい。それだけではなく
そういう行為を教員が学校においてつかさねていくこ
とによって学校そのものが支配機関となり、生徒は洗脳
されていくのだ。

演劇をやります

既報のとおり操り人間劇場を中心にして8月に公開演
劇「アリバイ」を上演します。当初の計画より大々的に
本格化し、新宿の四谷公会堂で3日間の大興業です。ブ

最近寄贈され、又は持ってきた文書一覧

ロレタリア演劇を根底から打ち破る無政府主義者の演劇
は何か?! との期待に十分答えきれない未熟な者ばかり
ですけれど、毎日曜日の練習の成果をどうぞお楽しみに。

ここにちの韓国・韓国フォトニュース・他図書目録等
☆神戸共同文庫会報2号・他☆無政府主義者連盟関西地
方準備会ニュース3号☆生活者三六号☆FRIニュース
9号・他☆ぐずらの手紙3号☆サル・トーン一七八号・他
☆瓢箪亭通信五期二九号☆高い壁五五号・「被告」とさ
れた諸兄弟へ☆あさひまちWRI3号☆朝日新聞長野版
北信4月22日号写し・望月桂回顧展☆自由連合紙上のユ
ートピア論争☆FRIニュース10号☆月刊共同体☆林景
明氏を囲む会ニュース29号、号外☆リベロ26号☆公判
通信47153号☆イオム8号☆個人通信2種・ひとりの歌
一号☆モバード5月号☆血乱死14号☆けんさん一二七号
☆無政府主義討論会への招請☆八鹿高校事件をめぐる
・アンケイト☆生活者三七・他☆コミューン・ヒロバニ二
号☆摩耶プリント葉書案内☆サル・トーン一七九号☆高い壁
五六15七号☆八鹿高校事件をめぐる(タイプリブリ
ント)☆